

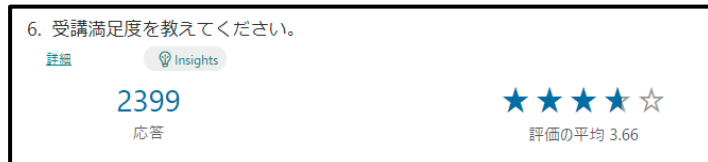
オンライン授業振り返りアンケート まとめ

2021年9月21～25日に全校規模でのオンライン授業を行いました。

これまでも授業担当者が授業単位で単発的に実施することはありました。しかし今回は、Teams（Microsoft社の共同作業用ソフト）の会議機能を使つての教員と生徒全員が参加する大規模実施ということで、教員も生徒も期待と不安の中、取り組むこととなりました。

授業後、生徒と教員に向けて、それぞれアンケートを実施しました。

授業ごとに1回の送信として受け付けて、のべ2399回の回答を得ました。総合評価は3.66でした。



*56%がこの質問に対して「4-5」と評価しました。



生徒からのコメント

- オンライン上の教室に入れないこともあったが、おおむね問題なく参加できた。
- オンライン授業実施時間が30分で設定されていたが、休み時間が長く感じられた。
- 音が途切れ途切れになったり、画面とのタイムラグが生じたりすることがあった。
- 黒板をカメラで映す授業は、板書がよく見えないことがあった。画面共有機能を使った授業でも、言葉と表示にタイムラグが生じることもあったが、見えやすいのでわかりやすかった。
- オンライン授業でも不便を感じることなく、わかりやすさを感じて受講できた。
- Teamsの不具合がおこり、授業に参加できないことがあった。
- 音声のタイムラグが生じて、先生の発問と生徒の返事がかみ合わないことがあった。

生徒が長時間に渡って電子機器を見ることに対する健康上の懸念や、集中力低下の危惧、教員のオンライン授業準備の不安などがあり、30分授業として設定しました。一方で、生徒によっては、集中が細切れになるということもあったようです。時間割編成については、今後の検討事項としていきたいと思います。

また、今回はオンライン授業のための教材整備が十分ではなかったため、従来通りの教材を利用することになり、やむなく黒板をカメラで映して授業を行うことになった場合も多くありました。次回に向けて、オンライン授業に対応したネットワーク上に教材を整備したり、画面共有機能を使うために必要な機器の数を整備したり、オンライン授業にも対応できる教材研究をしたりする必要性が考えられているところです。

授業方法と通信状態の関係も難しい課題であるということが、今回の実施でわかりました。通常授業のように発問を促すと、音声タイムラグによりスムーズな授業にはなりにくい一方、一方的に講義を展開するとオンデマンド（録画を各自が視聴する方法）と変わらず、同時双方向の良さが失われてしまいます。会議チャット機能を円滑に授業に取り入れるなど、オンライン授業独自の教材研究が必要だと気づかされる機会になりました。